

2026
SYLLABUS
[シラバス]

2

中学2年生

CONTENTS

※本冊子中の「TW」は「TopwiN」を表します。

学習の流れ

- | | | | |
|----|-----------|----|----------|
| 02 | 6年間の学習の流れ | 04 | 年間スケジュール |
|----|-----------|----|----------|

科目別シラバス

- | | | | | | |
|----|---------------------------------|----|-----------------------|----|-----------|
| 08 | 英語科カリキュラム | 18 | 数学科カリキュラム | 32 | 国語科カリキュラム |
| 10 | 英語TW Booster α ・ β | 20 | 数学TW Booster α | 34 | 国語TW |
| 14 | 英語TW | 22 | 数学TW Booster β | | |
| 16 | 英語S | 24 | 数学TW α | | |
| | | 26 | 数学TW β | | |
| | | 28 | 数学S α | | |
| | | 30 | 数学S β | | |
| 36 | 受講にあたってのご案内 | | | | |

早稲田アカデミー大学受験部

学習の流れ

- ・ 6年間の学習の流れ
- ・ 年間スケジュール

【6年間の学習の流れ】

(導入:初習 演習:問題演習を交えながら再度学習 入試実戦:過去問演習) ★…一通りの学習が終わるタ

科目	クラス	中1			中2			中3			高1		
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	
英語	TWB→TW・T	All English4技能総合 (英検®準2級レベル)			All English4技能総合 (英検®2級～準1級レベル)			高校英文法・4技能導入 (英検®2級～準1級レベル)			★ 高校文法・4技能演習		
	TW→TW・T	中学文法導入 (英検®3級～準2級レベル)				中学文法発展演習 (英検®準2級～2級レベル)							
	S→SK <small>※高3のみ Rを開講</small>	中学文法導入 (英検®4級～3級レベル)				中学文法演習 (英検®3級～準2級レベル)		高校基礎文法・4技能導入 (英検®準2級～2級レベル)			高校文法・4技能導入		
数学	TWBα→TW	中学内容導入			IA導入		II導入		★ IAB演習			IIIC導入	
	TWBβ→TW						BC導入					★ IAB演習	
	TWα	中学内容導入			IA導入		II導入		★ IIIABC演習			IIIC導入	
	TWβ <small>※高3のみ γを開講</small>						BC導入						
	Sα	中学内容導入			中学内容演習		IA導入		II導入		SKγへ		
	Sβ												
	Tα										II導入		
	Tβ										IIIC導入		
	SKα										II導入		
	SKβ										IIIC導入		
	SKγ												
	Rα												
	Rβ												
国語	TW	国語教養導入(古文文法・漢文句法導入)					★ 現代思想導入・古文漢文演習		読解演習(現古漢)				
	T								古文文法・漢文句法導入				
	SK <small>※高3のみ Rを開講</small>								大学入試国語導入(古典文法導入)				
物理	TW												
	SK												
化学	TW												
	SK												
生物	TW												
世界史	TW												
	SK												
日本史	TW												
	SK												
地理	TW												

				高2			高3		
3				1	2	3	1	2	3
				入試実戦					
★ 高校文法・4技能演習							入試実戦		
★ III C演習							III C入試実戦		
				III ABC入試実戦			III ABC入試実戦		
★ III C演習							III C入試実戦		
				III ABC入試実戦			III ABC入試実戦		
★ III 導入				★ III 演習		C 導入	★ III C入試実戦		
★ III ABC演習							III ABC入試実戦		
II BC 導入				★ III C 導入		★ III C 演習		III C 入試実戦	
							III ABC入試実戦		
★ III ABC演習				→TW/T/SKいずれかのβへ					
							III C 導入		★ III C 入試実戦
							III ABC演習		III ABC入試実戦
				入試実戦					
★ 読解演習(古漢)				読解演習(現古漢)			入試実戦(TWへ合流)		
★ 読解演習(現古漢)							入試実戦		
力学導入		熱力学導入/波動導入		電磁気学導入		★ 全分野演習		入試実戦	
力学導入		熱力学導入/波動導入		電気導入		★ 全分野導入・演習		入試実戦	
理論化学導入		無機化学導入		有機化学導入		★ 全分野演習		入試実戦	
理論化学導入		無機化学導入		有機化学導入		★ 全分野導入・演習		入試実戦	
生物基礎導入		生物導入		★ 全分野演習				入試実戦	
導入(全時代)				★ 導入(全時代)		★ 演習			
導入(原始～江戸時代=前近代まで)						★ 導入(全時代・テーマ史)		★ 演習	
導入(全範囲)				★ 導入(全範囲)		★ 演習			

年間スケジュール[中1～中3] ★…クラス選抜試験

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
中1		春期講習会		オリエンテーション 保護者会① 定期試験対策	個別面談① 定期試験対策	夏期講習会 オリエンテーション TWクラス選抜試験(後期) 必修テスト① ★
中2	必修テスト① オリエンテーション 春期講習会			オリエンテーション 保護者会① 定期試験対策	個別面談① 定期試験対策	夏期講習会 オリエンテーション TWクラス選抜試験(後期) 必修テスト② ★
中3	オリエンテーション 春期講習会			定期試験対策 保護者会① オリエンテーション 必修テスト①	個別面談① 定期試験対策	夏期講習会 オリエンテーション TWクラス選抜試験(後期) ★

※イベントの時期・名称は変更になる場合があります。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必修テスト②	定期試験対策 保護者会② オリエンテーション	個別面談② 定期試験対策	TWクラス選抜試験(前期) ★	冬期講習会 オリエンテーション	必修テスト③ 新年度説明会 個別面談③	定期試験対策
必修テスト③	定期試験対策 保護者会② オリエンテーション	個別面談② 定期試験対策	TWクラス選抜試験(前期) ★	冬期講習会 オリエンテーション	必修テスト④ 新年度説明会 個別面談③	定期試験対策
必修テスト②	定期試験対策 保護者会② オリエンテーション	必修テスト③ 定期試験対策 個別面談②	TWクラス選抜試験(前期) ★	冬期講習会 オリエンテーション	東大への数学 新年度説明会 個別面談③	必修テスト④ 定期試験対策

科目別シラバス

- ・ 英語
- ・ 数学
- ・ 国語

英語科カリキュラム

中学1年～高校3年

英語科指導方針

TW Boosterクラス 授業の進め方

TW Boosterクラスでは、「バイリンガル講師によるオールイングリッシュ授業」と、各校舎の洋書ライブラリーを利用した「多読」を通じて、日本語を介することなく英語を英語のまま理解し、英語で発信する「ネイティブライク・シンキング」を体得することを狙っています。

- 「バイリンガル講師」だからできること
自然な英語の体得を指導する講師は、バイリンガル講師こそ最適であると私たちは考えています。日本語と英語の発音・発声の仕方の違いを教え、あるいは英語固有の言語感覚を指導するには、日英両語の運用に長けていることが必要だからです。
- 多読による言語情報の習得と洋書ライブラリアン
本講座では洋書の読書を課します。各校舎に設置された多読ライブラリーにはライブラリアン＝洋書司書がおり、生徒一人ひとりに最適な本を提案します。
- 英語を「体得する」ということ
TW Boosterクラスでは、身体的理解を通じて、英語を文字通り「体得」することを目指します。学校で内職が必要なほどの量の家庭学習を出すことは無論ありませんが、それでも決して少なくはありません。皆さんがしっかり課題に向き合えるよう、家庭学習の取り組みも全力で支えます。

TW・Sクラス 授業の進め方

TW・Sクラスでは、①健全な学習習慣 ②無理のない課題量と先取りを柱に、英語力の根幹たる「語彙力」「文法力」を、音声情報と文字情報の双方を介した活動で身につけます。

- 地に足をつけて盤石の基盤をつくる
週1回90分の授業を通じ、1年半で中学文法全範囲を一通り学習します。学校の文法学習の先取りをしますが、これは特別早いカリキュラムではありません。中学文法は、文字通りその後の英語学習の基盤となりますので、TW・Sクラスではいたずらに速さを追求することなく、盤石な基盤固めに重点を置きます。
- 文字と音を介した英語表現を学ぶ
授業は語彙の学習に加え、①テキストを使用した文法学習と文字による英語表現、②例文集を使用した重要例文の学習と音声による英語表現を学習します。文法学習では、文法ルールの丸暗記に留まることなく、そのルールを正しく運用し、正しい表現を記述する訓練をします。音声学習では、テキスト「重要例文集」に収録されている「生きた音声」で「生きた英文」を体得します。

【6年間の流れ】

	TW Booster	TW・S
中1	オールイングリッシュの授業で、中学文法を一通り使える形にし、1年間で英検®準2級レベル(およそ2000語程度)の語彙力を身につけます。また、授業でリスニングやスピーキングの力を鍛え、さらには毎週のライティング課題を課し、英語運用を日常化します。読書は1年間で総計45～60万語に触れます。	中学英文法の2/3を一通り使える形にし、1年間で英検®3級レベル(1200語程度)の語彙力を身につけます。確かな理解はもちろんのこと、文字と音声を介した反復訓練によって、英語運用の基盤を整えることを目標とします。
中2	中1に引き続き、オールイングリッシュの授業でより高度な英語運用能力を身につけます。レベルの高い会話や講義なども聴きとれるようになり、英検®2級はもちろんのこと、準1級にも相当する力をつけていきます。読書量は中1からの2年間で120～160万語に届きます。	中1に引き続き、中学英文法の総仕上げをします。夏休みで中学文法の学習を一通り終了後、秋以降は2回目の学習に突入し、特に文構造に影響を与える文法内容にフォーカスします。
	TW	S
中3	高校文法の体系学習に入り、より高度な英文表現を学びます。2年間で培った英語の「身体的感覚的理解」による英文の構造、規則(＝英文法)の知識を日本語によって言語化していきます。これまで読み、書き、聴いて話してきた英文を、文法という媒体を経て有機的に結びつけていきます。	高校文法の体系学習に入り、より高度な英文表現を学びます。2年間で整えた英語の基盤をもとに、いよいよ本格的な英語の運用を学んでいきます。
	TW・T	SK
高1	語彙や語法といった知識の学習、高校文法の体系学習を1年間で終えます。合わせて、これまで培ってきた基礎語学力を基に、高度な英文の読解と作文による発信を本格的に学んでいきます。	高校文法の体系学習に突入し、中学までの内容を凌駕する高度な表現を学んでいきます。無味乾燥な暗記のみに頼らない、本質的な勉強を進めていきます。
高2	東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く英語力をつけます。英作文はもちろん、東大固有の設問形式に纏わる記述答案作成の力をつけるべく、実際の入試問題の演習を多く積みます。秋の東大模試で合格点に届く力をつけていきます。	語彙や文法といった知識の基盤をかため、本格的に読解や作文といった演習に力を入れ、解答能力の向上を目指します。大学入学共通テストレベルの英語問題にも対応できる力をつけていきます。
高3	各クラスが目標とする最難関大学の入試問題を演習形式で対策していきます。合格点に到達することは無論のこと、英語の得点で他科目を補うアドバンテージを生み出せるまで力をつけていきます。TWクラスでは記述答案作成力を更に洗練すべく、添削指導を実施いたします。	

※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

【ノート】

TW・Sクラスでは、授業に参加するにあたり、以下の2種類のノートをご用意ください。なお、TW Boosterクラスではワークブックを使用するため、ノートは不要です。

① 授業内講義演習ノート

テキストへの解答の書き込みは授業内外を問わず禁止です。講師の板書だけでなく、口頭で説明した内容も含め、学んだことを貪欲に書き込んでください。鉛筆やシャープペンシルに加え、赤と青のペンをご用意ください。

② 宿題演習ノート

宿題の演習は別冊でノートを作成していただき、授業内で担当講師が回収・チェックを行います。演習問題の解答だけを書き込むのではなく、間違えた問題の「問題文」「解答」「正解の根拠」をまとめましょう。単語の書き取りの練習もこのノートに行ってください。

【音声教材】

英語の音声学習用の教材には以下のものがあります。

- ① 【英語TW Booster】 Vocabulary List用音源
単語、定義、例文を音声化した教材です。早稲田アカデミーOnlineからアクセス可能です。
- ② 【英語TW Booster】 英検®リスニング対策音源
リスニング対策の音源です。早稲田アカデミーOnlineからアクセス可能です。
- ③ 【英語TW Booster】 Reading Explorer Foundations音源 (中2春期まで)
本文を音声化した教材です。https://eltnl.com/sites/reading-explorer/homeから視聴可能です。
- ④ 【英語TW Booster】 Reading Explorer Foundation解説動画 (中2春期まで)
講師による長文の解説動画です。早稲田アカデミーOnlineに掲載されています。③の音声と合わせ、授業前に視聴しましょう。
- ⑤ 【英語TW Booster】 英検®対策解説動画
ご自宅で実施していただく英検®過去問の解説動画です。演習後に解説動画を視聴してください。早稲田アカデミーOnlineからアクセス可能です。
- ⑥ 【英語TW・S】 例文集用音源
重要例文を音声化した教材です。早稲田アカデミーOnlineからアクセス可能です。
- ⑦ 【英語TW・S】 英単語ターゲット1800用音源
スマートフォン、タブレットに対応した音声学習用アプリです。旺文社のHP (https://www.obunsha.co.jp) よりインストール可能です。

【TW BoosterからTWへ】

中1～中2で中学内容の先取りを終了し、話す、聴く=音声を介した学習によって英語を体得する学習から、英文法の体系学習に移行します。これによって、学年に応じて洗練されてきた知性の中でこれまでの学習で体得した点的知識を論理的有機的に結びつけ、感覚的理解を知識的側面から洗い直し、論理的理解に昇華します。授業の中では日本語を活用し、英文和訳の手法も取り入れていきます。これにより、日本語での和訳・要約、日本語からの英訳といった日英両語の理解を前提とする日本の大学受験の入試問題にも対応できる実戦力を身につけます。

【テスト(中2)】

TWクラス選抜	7月、12月に実施します。TWクラスの受講にはこの試験に合格することが必要です。合格者は科目ごとに得点によって選出されますので、単科での受講も可能です。合格点の目安は60点です。またこの試験を当日3科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。	
	実施月	3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月
必修テスト	3月、7月、9月、1月の年4回、中高一貫校生向けのマーク模試を受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。	
	実施月	3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月
英検®	TW Boosterクラスの受講者には英検®を積極的に受験してもらいます。中学1年生終了時に英検®準2級取得を目指し、中学2年生終了時に英検®2級～準1級取得を目指します。	
	実施月	6月 第1回1次 7月 第1回2次 10月 第2回1次 11月 第2回2次 1月 第3回1次 2月 第3回2次
月例テスト	所定月の1回目授業において実施する、前月内容のまとめテストです。このテストで基準点を超過し続けられているかが、英語力の伸びを測るうえで一つの目安になります。合格点は80点が目安です。	
	実施月	3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月
Vocabulary Test (TW Booster) 単語テスト (TW・S)	語彙力を測定するテストです。TW Boosterクラスは毎週、TW・Sクラスは各月の2回目と3回目の授業で実施します。英語力の基盤の勉強ですので、毎日時間を取りましょう。TW Boosterクラスは70点、TW・Sクラスは90点以上が合格点です。	
	Grammar Test (TW Booster) 文法&重要例文確認テスト (TW・S)	文法事項、英文表現の定着を測定するテストです。TW BoosterクラスはVocabulary Testと合わせて毎週、TW・Sクラスは各月の2回目と3回目の授業で実施します。翌授業までに複数日、演習する時間を確保しましょう。TW Boosterクラスは70点、TW・Sクラスは80点以上が合格点です。

中2英語TW Booster $\alpha \cdot \beta$ 選抜

中高一貫

通常授業(1回)

講習会(1回)

180分
(2講座分)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学、
またはハーバード大・M.I.Tなどの海外難関大学への進学を目指す生徒。
※受講にはTW Boosterクラス選抜試験への合格が必要です

■ 授業内容

- 1.「Vocabulary List」
- 2.「Extra Grammar」
- 3.確認テスト
- 4.月例テスト
- 5.英検®過去問解説
- 6.「Interview Practice」・「Writing Practice」
- 7.多読

■ 夏期以降のカリキュラムについて

夏期から1組と2組に分かれていきます。
詳細につきましては別途ご案内いたします。
1組:準1級を目指すクラス
2組:2級をしっかりと固めていくクラス

■ 提出物 提出方法

- ☆対面で授業に参加される場合は授業冒頭に以下を提出しましょう。
- 1) Interview/Writing Practice
 - 2) Reading Log
- ☆双方向Web授業(Zoom)で授業に参加される場合は授業当日22:00までに以下を「EAST」で提出しましょう。
- 1) Interview/Writing Practice
 - 2) Reading Log
 - 3) 月例テスト(該当回のみ)

※以下は提出不要です

- 1) 確認テスト(各自丸付けをし、テストの点数を休憩時間等に講師に伝えましょう)

☆授業外で実施する「英検®対策」の解答用紙は全生徒、EASTでご提出ください。

1. 「Vocabulary List」 テスト

英英辞典形式で単語を学習します。それぞれ、「単語」「定義」「例文」の構成になっています。「英語でどう説明するのか、実際にどう使われるのか」を学ぶ機会です。したがって、「単語を暗記すればよし、点数が高ければそれでよし」ではなく、イメージ化された英文を自分のものにする気概で取り組んでください。頭に入れるべきは「日本語訳」でなく「定義」「例文」です。復習のために、板書のメモも忘れないようにしましょう。

【宿題の進め方】 (1日30分、毎日)

- 1) 授業後、48時間以内に板書のメモを見ながら講師の説明内容を思い出してみましょう。
- 2) 早稲田アカデミーOnline内の「学習コンテンツ」で読み方を確認し、定義や例文の意味をイメージしながら、すらすらと読めるようになるまで音読をしましょう。

2. 「Extra Grammar」 テスト

英語文法のルールを英語で理解するための教材です。演習問題が多く用意されています。

【宿題の進め方】 (1日15分、2日に1回)

- 1) Unitの各Partにある例文を、すらすらと読めるようになるまで10回以上音読し、練習しましょう。
- 2) 一通り読めるようになり、レッスンのポイントを確認したらそれぞれのアクティビティーを解いてください。授業内で扱わなかったテキストの範囲を家で解きましょう。答えを見ながら各自丸付けをしてください。次週の授業冒頭で(丸付けまで)実施済みか確認しますので講師に見せてください。

3. 確認テスト テスト

100点=「Vocabularyテスト」+「Interview/ Writing Practice提出点」+「Reading Log(読書記録)提出点」※配点は回によって異なります。

【テスト範囲】

- 1) Vocabulary:「Vocabulary List」の定義と例文、そして教材に載っていないオリジナルの例文も出題します。
ワードバンクから単語を選び、自分で綴りを写して書きます(文頭が小文字・スペルミスがある場合は加点されません)。
- 2) 前の週に扱った範囲から出題します。質問をよく読み、答えを記入しましょう。

4. 月例テスト テスト

月例テスト実施月の1回目の授業冒頭で実施します。その際、通常の確認テストはありません。まとめテストの役割を担うため、例文は全てオリジナルのものが出題されます。以前学んだ単語を見直し、定着させるためのテストですのでしっかりと備えて挑みましょう。

【テスト範囲】 ※Vocabulary = Vocabulary List から出題

1組・2組	1組	2組
5月: Grade 2 VL #1-240	10月: Grade 2 VL #601-1000	10月: Grade 2 VL #601-800
6月: Grade 2 VL #241-480	11月: Grade Pre1 VL #1-200	11月: Grade 2 VL #801-1000
7月: Grade 2 VL #481-600	12月: Grade Pre1 VL #201-320	12月: Grade 2 VL #1-400
	2月: Grade Pre1 VL #321-720	2月: Grade 2 VL #401-800

※オンラインで受講する場合は解答用紙をEASTで提出してください。

5. 英検®過去問解説

中学2年終了時点で「英検®2級、ないし準1級」合格を目指します。2026年度英検®本会場日程については、近付きましたらご案内を配布します。2級までは大学受験部にて受験も可能です。詳しくは校舎からご案内します。S-CBTの日程については英検®ホームページをご確認ください。

■ 一次試験対策(4月以降授業内実施)

長文読解 毎回の授業での長文を演習し、解説します。シラバスに沿って進めますので必ず教材を持参しましょう。
最初は難しいと思いますが、全体像を理解し、問題に正しく答えられることを目指していきましょう。

【宿題の進め方】(1日20分、週に2回)

授業前: 予習として音読をし、わからない単語を3~5個Vocabulary Listで調べてきましょう。

授業後: 解説を忘れないうちに文章の意味をイメージしながら再度音読しましょう。

要約問題 2024年度から英検®の問題形式が一部変わりました。2級以上については要約問題が加わりました。

授業内で書く練習をしていきますので、少しずつ慣れていきましょう。

【進め方】

授業前: 予習として音読をし、わからない単語を3~5個Vocabulary Listで調べてきましょう。

授業内: 重要なポイントを確認し、その場で要約を書き、提出します。2nd Draftは原則ありません。

■ 一次試験対策(第1・2・3回検定 授業外実施) 提出物

英検®本番直前では演習形式の模擬試験に挑戦します。1年間で3回実施します。ご自宅で時間を測って過去問を解き、「早稲田アカデミーOnline」よりアクセスできる「解説映像」で学習するスタイルです。教材や詳しい進め方、解答用紙の提出方法については別途ご案内します。リスニングの音声も、同じく「早稲田アカデミーOnline」からお聴きいただけます。「早稲田アカデミーOnline → 学習コンテンツ → 大学受験部中2 → TopwiN Booster 中2 → TopwiN Booster中2 英検®対策 リスニング」

■ 二次試験対策(第1・2・3回検定) ※6月②・10月③・2月①授業内

二次試験に向けて6月・10月・2月に二次対策を授業で実施します。「第1回検定で一次に合格した」「第2・3回検定で一次に合格したが、授業内では受験級の二次試験対策をしていない」「S-CBTの受験日が授業内の二次対策よりも前なので、先に練習したい」など、別途対策をご希望される場合、まずはお通いの校舎にご相談ください。

❖ 英語科カリキュラム

6. 「Interview Practice」「Writing Practice」 提出物

英検®2級・準1級のライティング（一次試験）、そして二次試験の体裁をとってはいますが、英検®を超えた発信力、表現力の開発を意図しています。毎週1ページずつ範囲指定を書き上げ、2週にまたがって「1st Draft（下書き）→添削と返却→2nd Draft（清書）」の工程で表現力向上を目指します。

【宿題の進め方】（1日20～30分、週に2回）

- 1) 「1st Draft」を提出してください。
- 2) 翌週の授業（その次の週の場合もあります）で添削答案が返却されますので、コメントをよく読み、シラバスに沿って「2nd Draft」を提出してください。
- 3) 「2nd Draft」の添削答案が戻ってきたら再度コメントをよく読み、音読を最低3回はしましょう。口頭でも答えられるようになるのが目標です。

7. 多読（Reading Log） 提出物

「英語脳」を形成するためには「多読」も大切です。各校舎に設置されている多読ライブラリーからレベルに合った本を借り、英語での読書に取り組みましょう。選書で困ったらライブラリアンに相談し、無理なく読めるものを一緒に見つけましょう。合計6冊まで借りることができます。貸出期限は1週間です（オンラインで受講されている場合はご相談ください）。年間の読書量目標は100万語です。部活や課題などで忙しい人も、75万語を目指して習慣化しましょう。

【宿題の進め方】（1日15～30分、毎日）

読書を終わったら、Reading Logにその記録を取ってください。Reading Logは毎回授業で回収します。同じ本を繰り返し読んだ場合でも、その都度、記入してください。同じ風景であっても走れば万歩計のカウントが進むように、同じ文章でも違った気付きがあるものです。繰り返した分、どんどん記入していきましょう。また、CDを聞いただけでもカウントしてしまって構いません。良質な英語のインプットを増やしていきましょう。

英検®をベースにしたPhaseの目安です。参考程度にご覧ください。

5級程度:Phase 2～3	4級程度:Phase 4～6	3級程度:Phase 7～9	準2級程度:Phase 10～12	2級以上:Phase 13～
----------------	----------------	----------------	-------------------	----------------

【授業進行例(通常授業)】

3月	テスト 10分	解説 40分	Vocabulary List 解説 90分	Reading Explorer 40分
4月~	テスト 10分	解説 40分	Vocabulary List 解説 90分	英検®解説 40分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。

【カリキュラム】

月	回	授業内容						宿題 (提出)				月	回	
		Reading Explorer Foundations	Extra Grammar	Vocabulary List		英検®過去問題		テスト	Interview/Writing Practice		2級 書き方の説明			
				1組	2組	1組	2組		1組	2組				
3月	①			準2級	946-980					2級			①	
	②	9A (R)	Unit 1		981-1015						2022-1A	Draft 1	②	
	③	9A (Q)	Unit 2		1016-1050						2022-1B	Draft 1	③	
春期	①	10A (R)	Unit 3	2級	1-30						2022-1A	Draft 2	①	
	②	10A (Q)	Unit 4		31-60								②	
	③	11A (R)	Unit 5		61-90								③	
	④	11A (Q)	Unit 6		91-120								④	
	⑤	11B (R)	Unit 7		121-150						2022-1B	Draft 2	⑤	
	⑥	11B (Q)	Unit 8		151-180								⑥	
	⑦	12A (R)	Unit 9		181-210								⑦	
	⑧	12A (Q)	Unit 10		211-240								⑧	
4月	①		Unit 11	2級	241-280		要約 ①				2022-2A	Draft 1	①	
	②		Unit 12		281-320		2022.1	2A			2022-2B	Draft 1	②	
	③		Unit 13		321-360			2B			2022-2A	Draft 2	③	
5月	①		Unit 14		361-400		要約 ②		5月 月例テスト		2022-2B	Draft 2	①	
	②		Unit 15		401-440		2022.1	3A			2022-3A	Draft 1	②	
	③				441-480			3B			2022-3B	Draft 1	③	
6月	①				481-520		要約 ③		6月 月例テスト		2022-3A	Draft 2	①	
	②				521-560		2級 2次試験対策				2022-3B	Draft 2	②	
	③				561-600		2022.1	3C			2023-1A	Draft 1	③	
7月	①				601-640		要約 ④		7月 月例テスト		2023-1B	Draft 1	①	
	②				641-680		2022.2	3B			2023-1A	Draft 2	②	
	③				681-720			3C			2022-1B	Draft 2	③	
夏期	①		2級	721-770	2級	721-750	準1級	要約 ①	2級	要約 ⑤		2023-2A	Draft1	①
	②			771-820		751-780		2022.1	2A	2022.2	2A			②
	③			821-870		781-810			2B		2B			③
	④			871-920		811-840		2022.2	2A		3A			④
	⑤			921-970		841-870			2B	2022.3	2A			⑤
	⑥			971-1000		871-900		要約 ②		要約 ⑥				⑥
9月	①		準1級	1-40		901-930		X		2022.3	3A		①	
	②			41-80		931-960		2022.1	3A		3B		②	
	③			81-120		961-1000		要約 ③		要約 ⑦			③	
10月	①		2級	121-160	2級	1-60		2022.3	2A		2022.3	2B	10月 月例テスト	①
	②		復習	161-200		61-120		2022.2	3A			3C		②
	③			201-240		121-180	準1級 2次試験対策			2級 2次試験対策				③
11月	①			241-280		181-240		要約 ④		要約 ⑧			11月 月例テスト	①
	②			281-320		241-300		2022.3	2B	2023.1	3A			②
	③			321-360		301-360			3A		3B			③
12月	①			361-400		361-420		要約 ⑤		要約 ⑨			12月 月例テスト	①
	②			401-440		421-480		2022.1	3B	2023.1	3C			②
	③			441-480		481-540		2022.2	3B		2A			③
冬期	①			481-520		541-600		要約 ⑥		要約 ⑩				①
	②			521-560		601-660		2023.1	2A	2023.1	2B			②
	③			561-600		661-720			2B	2023.2	2A			③
	④			601-640		721-780		要約 ⑦		要約 ⑪				④
1月	①			641-680		781-840		2022.3	3B	2023.2	3B			①
	②			681-720		841-900		2023.1	3A		3C			②
	③			721-760		901-1000		要約 ⑧		要約 ⑫				③
2月	①			761-800	準1級	1-30		準1級 2次対策	準1級	2/準1級 2次対策			2月 月例テスト	①
	②			801-840		31-60		2023.2	2A	2023.2	3A			②
	③			841-880		61-100			2B		2B			③

※(R)はリーディングの回、(Q)は読解の回を表します

中2英語TW(文法)

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

対象

東大・京大をはじめとする最難関大学に合格するための、基礎学力習得を目指す生徒。受講には、TWクラス選抜試験で受講資格を得ることが必要です。

講座の目的

この講座では5年後の難関大合格に必要な英語力の素地をつくるだけでなく、大学入学後、実際に英語をコミュニケーションのツールとして活用することを前提とした指導をしていきます。

高校受験に振り回されないという中高一貫生の利点を活かして、中学校の3年間でひと通りの文法事項を網羅することを前提に、1年間で扱う文法単元の選別と、その最適な順序での学習をしていきます。本学年は中学校の学習指導要領範囲内の文法単元を全て完了させる大切な学年です。現在完了形、関係代名詞、受動態など公立中では中3で学習する内容と高校初級レベルの内容を先取りします。

なお、到達度の目安は学年末の段階で英検®準2級～2級合格程度の英語力を身につけることです。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中2英語TW/S(前期・後期文法編・後期長文編)

問題演習用のテキストです。学校の定期試験や高校入試で問われる問題を収録しています。「試験によく出る問題」というものは実際に存在しますので、そのような問題になれておくための教材です。ただし、やや難度の高い問題も含まれますので、問題の取捨選択や優先順位付けは講師が行います。

使用法

予習: 不要です。

授業: 授業内で扱う文法事項の導入講義を行い、その後テキスト内「練成問題」「発展問題」からバランスよく演習します。

復習: ノートをしっかり読み直し、下記宿題に記載している通り、問題演習をしっかりと反復してください。ただ問題を解き、答え合わせをしたところで効果はありません。必ず以下の注意を守って復習にあってください。

- ① 1日で全ての宿題を終えるのではなく、何日かに分けて実施する
- ② 英語も日本語も丁寧に書く
- ③ 解けない問題が出てきても、必要以上に立ち止まらない
- ④ 演習中や答え合わせ中に発生した「疑問」は、講師やアシスタスタフに質問し解決する

■ 中2英語TW/S重要例文集(前期)

使用法

予習: 不要です。 授業: 原則授業内では使用しませんが、確認テストの一部はこのテキストから出題されます。

復習: 以下の点を守って、正しく効率的に勉強をしてください。

- ① 音声を聴く
早稲アカオンラインから各例文の音声を聴くことができます。まずは各文を発声する上での特徴をしっかりと確認しましょう。
- ② テキストを見ながら発声する
テキストの例文を見ながら、音声に続いて発声しましょう。なるべく自分なりに見本音声の真似をしてみてください。日本語なまりの発音が定着する前だからこそ、聴いた音の自分なりの再現は有効です。
- ③ テキストを見ないで発声する
続いて、テキストを見ない状態で音声を聴き、同様に発声をしてみましょう。②をしっかりとできていればスムーズに例文が自身の口から出てくるはずですよ。
- ④ 例文をノートに3回ずつ書く
雑に書くことなく、1回1回丁寧に、音声を頭の中で巡らせながらノートに書きましょう。

■ 中学英単語ターゲット1800

TW・Sクラス指定の単語集。長く記憶に残すために、指定範囲から毎日なるべく多くの単語を繰り返し覚えるようにしましょう。単語テスト前日だけの学習にはいけません。また、各単語に付随する諸知識[類義語・反意語・関連語・派生語・発音・アクセント]もしっかりと学習してください。なお、月例テストでも語い問題を10題程度出題します。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 中学英単語ターゲット1800の指定範囲英単語の練習(1日20分/毎日)

毎週50語程度、指定された範囲の英単語を覚えます。翌週に「日→英」の確認テストを20題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは授業後の追試を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

その週の復習として、「練成問題」「発展問題」の演習を宿題ノートにします。演習後は別冊の解答冊子を使用して丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。翌授業で宿題ノートの回収と確認テストを実施します。80点合格で、不合格の場合は翌授業までの追課題を指示します。

③ 重要例文集の暗記と口頭練習

毎週5-10個の英文の暗記と口語訓練(発音)をします。②と合わせ、翌週に確認テストを実施します。また、口頭での暗唱テストを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0				30		60		90
諸伝達	単語テスト	解説	文法テスト	解説	文法理論講義	文法演習・解説	まとめ宿題伝達	
5分	5分	5分	10分	10分	25分	25分	5分	

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	文法	文法確認テスト	単語テスト
3月	①	1 現在完了(1)	-	-
	②	2 現在完了(2)	現在完了(1)	601-700
	③	3 現在完了進行形・過去完了	現在完了(2)	701-800
春期	①	時制①	-	-
	②	時制②	-	-
	③	不定詞	-	-
	④	文型	-	-
4月	①	4 受動態(基本)	-	601-800
	②	5 受動態(発展)	受動態(基本)	801-850
	③	6 知覚動詞・使役動詞	受動態(発展)	851-900
5月	①	7 間接疑問文	月例テスト	
	②	8 接続詞	間接疑問文	901-950
	③	9 仮定法	接続詞	951-1000
6月	①	10 不定詞(復習)	月例テスト	
	②	11 不定詞を含む構文	不定詞(復習)	1001-1050
	③	12 動名詞	不定詞を含む構文	1051-1100
7月	①	13 分詞	月例テスト	
	②	14 関係代名詞(1)	分詞	1101-1150
	③	15 関係代名詞(2)	関係代名詞(1)	1151-1200
夏期α	①	長文読解演習・リスニング演習①	-	-
	②	長文読解演習・リスニング演習②	-	-
	③	長文読解演習・リスニング演習③	-	-
夏期β	①	動名詞	-	-
	②	分詞	-	-
	③	関係代名詞	-	-
9月	①	時制と相	-	601-1200
	②	現在完了・過去完了	時制と相	1201-1250
	③	長文問題演習①	現在完了・過去完了	1251-1300
10月	①	受動態	月例テスト	
	②	不定詞	受動態	1301-1350
	③	長文問題演習②	不定詞	1351-1400
11月	①	動名詞	月例テスト	
	②	分詞	動名詞	1401-1450
	③	長文問題演習③	分詞	1451-1500
12月	①	関係代名詞	月例テスト	
	②	接続詞	関係代名詞	1501-1550
	③	長文問題演習④	接続詞	1551-1600
冬期	①	受動態	-	-
	②	分詞	-	-
	③	長文	-	-
	④	長文	-	-
1月	①	前置詞	-	601-1600
	②	名詞・冠詞	前置詞	1601-1650
	③	長文問題演習⑤	名詞・冠詞	1651-1700
2月	①	形容詞・副詞	月例テスト	
	②	比較	形容詞・副詞	1701-1750
	③	長文問題演習⑥	比較	1751-1800

上記カリキュラムのほかにも、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中2英語S(文法) 中高一貫

対象

早慶上智大をはじめとする難関大学に合格するための、基礎学力習得を目指す生徒。

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

講座の目的

この講座では5年後の難関大合格に必要な英語力の素地をつくるだけでなく、大学入学後、実際に英語をコミュニケーションのツールとして活用することを前提とした指導をしていきます。

高校受験に振り回されないという中高一貫生の利点を活かして、中学校の3年間でひと通りの文法事項を網羅することを前提に、1年間で扱う文法単元の選別と、その最適な順序での学習をしていきます。本学年は中学校の学習指導要領範囲内の文法単元を全て完了させる大切な学年です。現在完了形、関係代名詞、受動態など公立中では中3で学習する内容を先取りします。

なお、到達度の目安は学年末の段階で英検[®]準2級合格程度の英語力を身につけることです。

教材

※講習会は別テキストです。

■ 中2英語TW/S(前期・後期文法編・後期長文編)

問題演習用のテキストです。学校の定期試験や高校入試で問われる問題を収録しています。「試験によく出る問題」というものは実際に存在しますので、そのような問題になれておくための教材です。ただし、やや難度の高い問題も含まれますので、問題の取捨選択や優先順位付けは講師が行います。

使用法

予習: 不要です。

授業: 授業内で扱う文法事項の導入講義を行い、その後テキスト内「練成問題」「発展問題」からバランスよく演習します。

復習: ノートをしっかり読み直し、下記宿題に記載している通り、問題演習をしっかりと反復してください。ただ問題を解き、答え合わせをしたところで効果はありません。必ず以下の注意を守って復習にあってください。

- ① 1日で全ての宿題を終えるのではなく、何日かに分けて実施する
- ② 英語も日本語も丁寧に書く
- ③ 解けない問題が出てきても、必要以上に立ち止まらない
- ④ 演習中や答え合わせ中に発生した「疑問」は、講師やアシスタスタフに質問し解決する

■ 中2英語TW/S重要例文集(前期)

使用法

予習: 不要です。 授業: 原則授業内では使用しませんが、確認テストの一部はこのテキストから出題されます。

復習: 以下の点を守って、正しく効率的に勉強をしてください。

- ① 音声を聴く
早稲アカオンラインから各例文の音声を聴くことができます。まずは各文を発声する上での特徴をしっかりと確認しましょう。
- ② テキストを見ながら発声する
テキストの例文を見ながら、音声に続いて発声しましょう。なるべく自分なりに見本音声の真似をしてみてください。日本語なまりの発音が定着する前だからこそ、聴いた音の自分なりの再現は有効です。
- ③ テキストを見ないで発声する
続いて、テキストを見ない状態で音声を聴き、同様に発声をしてみましょう。②をしっかりとできていればスムーズに例文が自身の口から出てくるはずですよ。
- ④ 例文をノートに3回ずつ書く
雑に書くことなく、1回1回丁寧に、音声を頭の中で巡らせながらノートに書きましょう。

■ 中学英単語ターゲット1800

TW・Sクラス指定の単語集。長く記憶に残すために、指定範囲から毎日なるべく多くの単語を繰り返し覚えるようにしましょう。単語テスト前日だけの学習にはしてはいけません。また、各単語に付随する諸知識[類義語・反意語・関連語・派生語・発音・アクセント]もしっかりと学習してください。なお、月例テストでも語い問題を10題程度出題します。

宿題

宿題には以下のものがあります。

① 中学英単語ターゲット1800の指定範囲英単語の練習(1日20分/毎日)

毎週50語程度、指定された範囲の英単語を覚えます。翌週に「日→英」の確認テストを20題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは授業後の追試を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

その週の復習として、「練成問題」「発展問題」の演習を宿題ノートにします。演習後は別冊の解答冊子を使用して丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。翌授業で宿題ノートの回収と確認テストを実施します。80点合格で、不合格の場合は翌授業までの追課題を指示します。

③ 重要例文集の暗記と口頭練習

毎週5-10個の英文の暗記と口語訓練(発音)をします。②と合わせ、翌週に確認テストを実施します。また、口頭での暗唱テストを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0				30		60		90
諸伝達	単語テスト	解説	文法テスト	解説	文法理論講義	文法演習・解説	まとめ宿題伝達	
5分	5分	5分	10分	10分	25分	25分	5分	

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	文法	文法確認テスト	単語テスト
3月	①	1 現在完了(1)	-	-
	②	2 現在完了(2)	現在完了(1)	601-700
	③	3 現在完了進行形	現在完了(2)	701-800
春期	①	時制①	-	-
	②	時制②	-	-
	③	不定詞	-	-
	④	文型	-	-
4月	①	4 受動態(基本)	-	601-800
	②	5 受動態(発展)	受動態(基本)	801-850
	③	6 知覚動詞・使役動詞	受動態(発展)	851-900
5月	①	7 間接疑問文	月例テスト	
	②	8 接続詞	間接疑問文	901-950
	③	9 仮定法	接続詞	951-1000
6月	①	10 不定詞(復習)	月例テスト	
	②	11 不定詞を含む構文	不定詞(復習)	1001-1050
	③	12 動名詞	不定詞を含む構文	1051-1100
7月	①	13 分詞	月例テスト	
	②	14 関係代名詞(1)	分詞	1101-1150
	③	15 関係代名詞(2)	関係代名詞(1)	1151-1200
夏期α	①	長文読解演習・リスニング演習①	-	-
	②	長文読解演習・リスニング演習②	-	-
	③	長文読解演習・リスニング演習③	-	-
夏期β	①	動名詞	-	-
	②	分詞	-	-
	③	関係代名詞	-	-
9月	①	時制と相	-	601-1200
	②	現在完了・過去完了	時制と相	1201-1250
	③	長文問題演習①	現在完了・過去完了	1251-1300
10月	①	受動態	月例テスト	
	②	不定詞	受動態	1301-1350
	③	長文問題演習②	不定詞	1351-1400
11月	①	動名詞	月例テスト	
	②	分詞	動名詞	1401-1450
	③	長文問題演習③	分詞	1451-1500
12月	①	関係代名詞	月例テスト	
	②	接続詞	関係代名詞	1501-1550
	③	長文問題演習④	接続詞	1551-1600
冬期	①	受動態	-	-
	②	分詞	-	-
	③	長文	-	-
	④	長文	-	-
1月	①	前置詞	-	601-1600
	②	名詞・冠詞	前置詞	1601-1650
	③	長文問題演習⑤	名詞・冠詞	1651-1700
2月	①	形容詞・副詞	月例テスト	
	②	比較	形容詞・副詞	1701-1750
	③	長文問題演習⑥	比較	1751-1800

上記カリキュラムのほかにも、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

数学学科カリキュラム

中学1年～高校3年

数学科指導方針

● 中学数学+数学ⅠAの土台作りから数学ⅡBへ

- ①「中学数学+数学ⅠA」の基本知識と解法習得
- ②①を高校数学の土台として「数学ⅡB」「数学ⅢC」の各単元の知識と解法習得
- ③「入試演習」へと進む

という3段階の枠組みで学習を進めます。「数学ⅠA」は「中学数学を少し発展させた内容」であるため、この「数学ⅠA」までを土台として固める方針により、スムーズかつ自然に高校数学へ移行できます。その上で「数学ⅡB」や「数学ⅢC」の単元学習を進めることにより、ハイスピードであることを保ちながらも丁寧かつ確実に高校数学内容を消化し、「中学数学の学習を終えた後、一気に高校数学で新しい内容や考え方が増えて消化不良になる」ことを極小化できると考えています。

TWクラスでは①を中1中2の2年間・②を中3(数ⅢCは高1)・③を高1～で進め、Sクラスでは①を中1～中3までの3年間・②を高1(数ⅢCは高2)・③を高2～で進めます。

※下表を参照

● 課題・問題内容において「負荷をかける時期」をコントロール

早期に必要な計算力を身につけて高校数学の学習をスムーズかつハイスピードで進めるためには、やはり相応の負荷が必要です。いわゆる「できる子」でも年間130時間程度、やり直しや追加課題が必要な子だと年間200時間程度の課題が必要であると考えています。しかしながらそれを年間通じて一定のペースで消化しようとする、「困難な時期」が発生します。学校のある通常期と夏休みなどの長期休暇期間に合わせて適切に課題量を調整するのはもちろん、さらに個別に追加課題が必要な状況においても個々の状況に合わせ、本人と一緒に計画を立て、その通りに進んでいるかをチェックします。また、通常期は「基礎・基本を確実にできるようにすること」を優先し、「発展的な問題」は講習会や学年が上がってからの演習時期で復習とともに繰り返し扱うことで、「余裕のある時期」に知識と処理能力の向上を図ります。

【6年間の流れ】

	TW Booster・TW	S
中1	中学数学の代数・幾何からさらにそれを発展させた高校数学ⅠAまでを、この2年間で「高校数学の土台」として完成させます。この後に続く「数学ⅡB」、理系であれば「数学ⅢC」の幅広い知識をスピーディに習得していくため、この時期でその土台となる基本知識と典型処理を習得することに終了します。	中学数学の代数・幾何からさらにそれを発展させた高校数学ⅠAまでを、この3年間で「高校数学の土台」として完成させます。この後に続く「数学ⅡB」、理系であれば「数学ⅢC」の幅広い知識をスピーディに習得していくため、この時期でその土台となる基本知識と典型処理を習得することに終了します。
中2		
中3	一気に知識や考え方・解法の幅が広がる数学ⅡBを1年間かけて確実に固めていきます。文理共通範囲である数学ⅠⅡABCの単元学習はここで完了します。	
高1	高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の応用問題演習を扱いながら、単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学ⅢCの基本知識をこの1年間で学習します。	一気に知識や考え方・解法の幅が広がる数学ⅡBを1年間かけて確実に固めていきます。文理共通範囲である数学ⅠⅡABCの単元学習はここで完了します。
高2	数学ⅠAⅡB、数学ⅢCともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力・記述答案作成能力の向上を図ります。	高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の応用問題演習を扱いながら、単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学ⅢCの基本知識をこの1年間で学習します。
高3		数学ⅠAⅡB、数学ⅢCともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力・記述答案作成能力の向上を図ります。

【カリキュラム】

		中1			中2			中3				
		〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉		
TW Booster	α	中1～中3代数			Ⅰ導入		Ⅱ導入		Ⅱ導入			
	β	中1～中3幾何			A導入			BC導入		ⅠAB演習		
TW	α	中1～中3代数			中3代数		Ⅰ導入		Ⅱ導入			
	β	中1～中3幾何			中3幾何		A導入		B導入		C導入 ⅠA演習	
S	α	中1～中3代数			中3代数		中学代数復習		Ⅰ導入		Ⅱ導入	
	β	中1～中3幾何			中3幾何		中学幾何復習		A導入			Ⅱ導入

【ノート】

授業に参加するにあたり、以下の3つのノートをご用意ください。

① 授業ノート

講義内容（理論の説明部分）、授業内での問題演習部分ともに1冊のノートでまとめて構いません。後から見返す際の見やすさを考えて、ノート左ページを講義内容、右ページを左ページの講義内容と対応する演習問題を解くページとすることを推奨しますが、ある程度自分なりに見やすくなるよう工夫していただいて構いません。講師からの特別な指示がない限り、テキストに直接書き込むことはせず、講師からの説明内容はすべてこのノートに記録してください。※最低限、黒・赤・青・緑の4色+適宜蛍光ペン1本あれば問題ありません。

② 宿題用ノート

宿題用のテキストの問題演習のための専用ノートをご用意ください。毎回の授業時に講師が回収し、宿題チェックを行います。問題を解き、赤ペンで答え合わせをすところまで、このノートに実施してください。※間違えた問題のやり直しは③のノートに行います。

③ 間違いまとめノート

自分の間違えた問題とその原因・そして自分で決めた改善策を蓄積するノートです。「授業内で間違えてしまった問題」「宿題で間違えてしまった問題」「テストで間違えてしまった問題」、すべてここに記録しましょう。②のノートとともに、毎回の授業で講師がチェックします。

【宿題の量】

①通常期に関しては、 $\alpha\beta$ 合計平均3時間前後/週 × 通常授業30回 ÷ 年間90時間程度

②長期休暇期間に関しては、春休み中、GW、夏休み中、冬休み中で合計40時間程度

①+②で年間130時間程度分の課題が課されます。

また、①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しや復習にかかる時間」が増えます。

①で $\alpha\beta$ 合計で通常期平均+1時間、講習会平均+2時間の復習時間が増加

②で長期休暇課題が1.5倍程度に増加

すると仮定すると、

1時間 × 通常30回 + 2時間 × 講習会春夏冬合計11回 + 休暇課題20時間 ÷ 70時間程度

となるため、この場合は年間200時間程度必要です。

【テスト(中2)】

TWクラス選抜	7月、12月に実施します。TWクラスの受講にはこの試験に合格することが必要です。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受験も可能です。合格点の目安は60点です。またこの試験を当日3科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
必修テスト	3月、7月、9月、1月の年4回、中高一貫校生向けのマーク模試を受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
月例テスト	5月より指定月の初回冒頭20分間でチェックテストを行います。前月学習したテキスト内容から出題されます。目標点数の目安は60点です。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
確認テスト	毎月の第2回目、第3回目の授業において実施します。前週に学習した内容の確認テストを行います。テキストの類題が出題されます。目標点数の目安は60点です。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	

		高1			高2			高3		
		<1学期>	<2学期>	<3学期>	<1学期>	<2学期>	<3学期>	<1学期>	<2学期>	<3学期>
TW	α	III C導入			III C演習			III C演習		
	β	I II ABC演習			I II ABC演習			I II ABC演習		
SK γ		II BC導入			I II ABC演習					
T	α	I 導入	II 導入	III 導入	III 導入	III 演習	C 導入			
	β	A 導入	BC 導入		I II ABC演習			I II ABC演習		
SK	α	I 導入	II 導入		II 導入	III C導入		III C演習		
	β	A 導入		B 導入	BC 導入	III C導入		I II ABC演習		

中2数学TW Boostera

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

講習会(1回)

90分

180分

対象

東大・国立大医学部などの最難関大学を目指しつつ、
ジュニア数学オリンピック対策をしたい生徒。
※受講にはTW Boosterクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

高校単元の数学Iを導入からはじめていき、3学期には数学IIに入る非常に速い先取りカリキュラムで進んでいきます。各単元における頻出問題の定着にとどまらず融合問題も扱い、単元を超えた数学的視点を養うことで、東大などの最難関大学合格に必要とされる記述力や計算力、応用力を身につけていきます。

中2終了時まで、学校内成績においてトップ10に入る実力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】

■ 数学IA(授業用)新版、数学IIB+ベクトル(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず書き直してください。宿題自体が復習となりますので、そのうえでしっかりと宿題に取り組んでください。

■ 演習用テキスト

講習会以外の演習実施回では、メインテキストではなく演習用テキストを配布し使用します。

■ 講習会テキスト(夏期・冬期講習会に利用)

講習会で使用する問題演習用のテキストです。多くの演習問題を掲載していますので、講習会後の自習教材としても利用できます。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。講習会では既習分野の問題演習中心の授業になります。

宿題:さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な問題を中心に演習してください。また、詳しい解答・解説ページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

■ コンプリート 数学I、数学II

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてきてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学I、数学II(1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解いて、赤ペンを用いて答え合わせをしましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習(1週間で1時間程度)

授業テキスト内の講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まず一通り書き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし(1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題を授業ノートや解説で確認し、「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは書き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分
		解説 10分	講義 15分
		演習 10分	解説 10分

・クラスの人数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	【数Ⅰ】因数分解	「数と式(3月)」テキスト	—
	②	【数Ⅰ】整式の除法・高次方程式	「数と式(3月)」テキスト	因数分解
	③	【数Ⅰ】解と係数の関係、次数下げ	「数と式(3月)」テキスト	整数の除法・高次方程式
春期	①	【数Ⅰ】§1-1 展開と因数分解	数学ⅠA(授業用)	—
	②	【数Ⅰ】§1-2 実数	数学ⅠA(授業用)	§1-1 展開と因数分解
	③	【数Ⅰ】§1-3 対称式	数学ⅠA(授業用)	§1-2 実数
	④	【数Ⅰ】§1-4 絶対値	数学ⅠA(授業用)	§1-3 対称式
4月	①	【数Ⅰ】§2-1 2次方程式の解の公式と判別式	数学ⅠA(授業用)	—
	②	【数Ⅰ】§2-2 2次関数の基本 [1]	数学ⅠA(授業用)	§2-1 2次方程式の解の公式と判別式
	③	【数Ⅰ】§2-2 2次関数の基本 [2]	数学ⅠA(授業用)	§2-2 2次関数の基本
5月	①	【数Ⅰ】§2-3 2次関数の最大・最小 [1]	数学ⅠA(授業用)	月例テスト
	②	【数Ⅰ】§2-3 2次関数の最大・最小 [2]	数学ⅠA(授業用)	§2-3 2次関数の最大・最小
	③	【数Ⅰ】§2-4 2次不等式 [1]	数学ⅠA(授業用)	§2-3 2次関数の最大・最小
6月	①	【数Ⅰ】§2-4 2次不等式 [2]	数学ⅠA(授業用)	月例テスト
	②	【数Ⅰ】§2-5 2次方程式の解の配置	数学ⅠA(授業用)	§2-4 2次不等式
	③	【数Ⅰ演習】2次関数①	「2次関数演習(6月・7月)」テキスト	§2-5 2次方程式の解の配置
7月	①	【数Ⅰ演習】2次関数②	「2次関数演習(6月・7月)」テキスト	月例テスト
	②	【数Ⅰ演習】2次関数③	「2次関数演習(6月・7月)」テキスト	2次関数②
	③	【数Ⅰ演習】2次関数④	「2次関数演習(6月・7月)」テキスト	2次関数③
夏期	①	【数ⅠA演習】集合・場合の数①	夏期テキスト	—
	②	【数ⅠA演習】集合・場合の数②	夏期テキスト	—
	③	ジュニア数学オリンピック演習(組合せ論)	夏期テキスト	—
9月	①	【数Ⅰ】§4-1 三角比①(鋭角)	数学ⅠA(授業用)	—
	②	【数Ⅰ】§4-2 三角比②(一般角)	数学ⅠA(授業用)	§4-1 三角比①(鋭角)
	③	【数Ⅰ】§4-3 方程式と不等式 [1]	数学ⅠA(授業用)	§4-2 三角比②(一般角)
10月	①	【数Ⅰ】§4-3 方程式と不等式 [2]	数学ⅠA(授業用)	月例テスト
	②	【数Ⅰ】§4-4 正弦定理・余弦定理 [1]	数学ⅠA(授業用)	§4-3 方程式と不等式
	③	【数Ⅰ】§4-4 正弦定理・余弦定理 [2]	数学ⅠA(授業用)	§4-4 正弦定理・余弦定理
11月	①	【数Ⅰ】§4-5 三角形の面積 [1]	数学ⅠA(授業用)	月例テスト
	②	【数Ⅰ】§4-5 三角形の面積 [2]	数学ⅠA(授業用)	§4-5 三角形の面積
	③	【数Ⅰ】§5-1 データの整理と代表値	数学ⅠA(授業用)	§4-5 三角形の面積
12月	①	【数Ⅰ】§5-2 データの散らばり	数学ⅠA(授業用)	月例テスト
	②	【数Ⅰ】§5-3 データの相関	数学ⅠA(授業用)	§5-2 データの散らばり
	③	【数Ⅰ】§5-4 仮説検定	数学ⅠA(授業用)	§5-3 データの相関
冬期	①	【数Ⅰ演習】三角比①	冬期テキスト	—
	②	【数Ⅰ演習】三角比②	冬期テキスト	—
	③	ジュニア数学オリンピック本選演習①	「ジュニア数学オリンピック本選演習(冬期・1月)」テキスト	—
	④	ジュニア数学オリンピック本選演習②	「ジュニア数学オリンピック本選演習(冬期・1月)」テキスト	—
1月	①	ジュニア数学オリンピック本選演習	「ジュニア数学オリンピック本選演習(冬期・1月)」テキスト	—
	②	【数Ⅱ】§1-1 二項定理、多項式の除法と分数式	数学ⅡB+ベクトル(授業用)	—
	③	【数Ⅱ】§1-2 恒等式	数学ⅡB+ベクトル(授業用)	§1-1 二項定理、多項式の除法と分数式
2月	①	【数Ⅱ】§1-3 等式の証明	数学ⅡB+ベクトル(授業用)	月例テスト
	②	【数Ⅱ】§1-4 不等式の証明①	数学ⅡB+ベクトル(授業用)	§1-3 等式の証明
	③	【数Ⅱ】§1-5 不等式の証明② [1]	数学ⅡB+ベクトル(授業用)	§1-4 不等式の証明①

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

❖ 数学科カリキュラム

中2数学TW Booster β

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

講習会(1回)

90分

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指しつつ、
ジュニア数学オリンピック対策をしたい生徒。
※受講にはTW Boosterクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

高校単元の数学Aを導入からはじめていき、3学期には数学Bに入る非常に速い先取りカリキュラムで進んでいきます。各単元における頻出問題の定着にとどまらず融合問題も扱い、単元を超えた数学的視点を養うことで、東大などの最難関大学合格に必要なとされる記述力や計算力、応用力を身につけていきます。

中2終了時まで、学校内成績においてトップ10に入る実力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】

■ 数学I A(授業用)新版、数学IIB+ベクトル(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず解き直してください。宿題自体が復習となりますので、そのうえでしっかりと宿題に取り組んでください。

■ 演習用テキスト

演習実施回では、メインテキストではなく演習用テキストを配布し使用します。

■ コンプリート 数学I、数学A、数学B

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてきてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学I、数学A、数学B (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解いて、赤ペンを用いて答え合わせをしましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で1時間程度)

授業テキスト内の講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題を授業ノートや解説で確認し、「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分
		解説 10分	講義 15分
		演習 10分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	【数I】§3-1 集合	数学IA(授業用)	—
	②	【数I】§3-2 命題と条件	数学IA(授業用)	§3-1 集合
	③	【数I】§3-3 命題と証明	数学IA(授業用)	§3-2 命題と条件
春期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
	④	—	—	—
4月	①	【数A】§6-1 順列	数学IA(授業用)	—
	②	【数A】§6-2 組合せ	数学IA(授業用)	§6-1 順列
	③	【数A】§6-3 円順列・数珠順列	数学IA(授業用)	§6-2 組合せ
5月	①	【数A】§6-4 重複組合せ	数学IA(授業用)	月例テスト
	②	ジュニア広中杯演習①	「ジュニア広中杯演習(5月・6月)」テキスト	—
	③	ジュニア広中杯演習②	「ジュニア広中杯演習(5月・6月)」テキスト	—
6月	①	ジュニア広中杯演習③	「ジュニア広中杯演習(5月・6月)」テキスト	—
	②	ジュニア広中杯演習④	「ジュニア広中杯演習(5月・6月)」テキスト	—
	③	【数A】§7-1 確率	数学IA(授業用)	—
7月	①	【数A】§7-2 独立な試行の確率	数学IA(授業用)	月例テスト
	②	【数A】§7-3 条件付き確率	数学IA(授業用)	§7-2 独立な試行の確率
	③	【数A】§7-4 期待値・分散	数学IA(授業用)	§7-3 条件付き確率
夏期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
9月	①	【数A】§8-1 約数・倍数	数学IA(授業用)	—
	②	【数A】§8-2 不定方程式	数学IA(授業用)	§8-1 約数・倍数
	③	【数A】§8-3 剰余による分類	数学IA(授業用)	§8-2 不定方程式
10月	①	【数A】§8-4 不等式と整数の問題	数学IA(授業用)	月例テスト
	②	ジュニア数学オリンピック予選演習①	「ジュニア数学オリンピック予選演習(10月・11月)」テキスト	—
	③	ジュニア数学オリンピック予選演習②	「ジュニア数学オリンピック予選演習(10月・11月)」テキスト	—
11月	①	ジュニア数学オリンピック予選演習③	「ジュニア数学オリンピック予選演習(10月・11月)」テキスト	—
	②	ジュニア数学オリンピック予選演習④	「ジュニア数学オリンピック予選演習(10月・11月)」テキスト	—
	③	【数A演習】整数①	「整数演習(11月・12月)」テキスト	§8-4 不等式と整数の問題
12月	①	【数A演習】整数②	「整数演習(11月・12月)」テキスト	月例テスト
	②	【数A演習】整数③	「整数演習(11月・12月)」テキスト	整数②
	③	【数A演習】整数④	「整数演習(11月・12月)」テキスト	整数③
冬期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
	④	—	—	—
1月	①	ジュニア数学オリンピック本選演習	「ジュニア数学オリンピック本選演習(冬期・1月)」テキスト	—
	②	【数B】§7-1 等差数列	数学IIB+ベクトル(授業用)	—
	③	【数B】§7-2 等比数列	数学IIB+ベクトル(授業用)	§7-1 等差数列
2月	①	【数B】§7-3 和の記号Σと階差数列	数学IIB+ベクトル(授業用)	月例テスト
	②	【数B】§7-4 いろいろな数列	数学IIB+ベクトル(授業用)	§7-3 和の記号Σと階差数列
	③	【数B】§7-5 漸化式と数列① [1]	数学IIB+ベクトル(授業用)	§7-4 いろいろな数列

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

数学学科カリキュラム

中2数学TW α

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講にはTWクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

方程式や関数といった代数分野を中心に学習していきます。2学期からは高校単元の数学ⅠAに入る非常に速い先取りカリキュラムで進んでいきます。各単元における頻出問題の定着に留まらず融合問題も扱い、単元を超えた数学的視点を養うことで、発想力や記述力、解答力を向上させます。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中学数学 α (授業用②)、数学ⅠA(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず解き直してください。

■ 「§10整数・§11データの活用」テキスト

6月・7月に使用するテキストです。使用法は上記のメインテキストと同様です。

■ 新中学問題集

使用法

宿題として自宅で演習するための教材です。以下宿題欄をご参照ください。

■ コンプリート 数学Ⅰ

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてきてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 【前期】新中学問題集・【後期】コンプリート 数学Ⅰ(1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解いて、赤ペンを用いて答え合わせをしましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習(1週間で1時間程度)

授業テキスト内の講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解いて答え合わせで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやり直し(1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題を授業ノートや解説で確認し、「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分
		解説 10分	講義 15分
		演習 10分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	【中学数学】8.7 2次関数 $y=ax^2$ の利用①	中学数学 α (授業用②)	—
	②	【中学数学】8.7 2次関数 $y=ax^2$ の利用②	中学数学 α (授業用②)	8.7 2次関数 $y=ax^2$ の利用①
	③	【中学数学】8.7 2次関数 $y=ax^2$ の利用③	中学数学 α (授業用②)	8.7 2次関数 $y=ax^2$ の利用②
春期	①	【中学数学演習】展開・因数分解	春期テキスト	—
	②	【中学数学演習】平方根	春期テキスト	—
	③	【中学数学演習】2次方程式	春期テキスト	—
	④	【中学数学演習】2次関数	春期テキスト	—
4月	①	【中学数学】9.1 場合の数①	中学数学 α (授業用②)	—
	②	【中学数学】9.1 場合の数②	中学数学 α (授業用②)	9.1 場合の数①
	③	【中学数学】9.1 場合の数③	中学数学 α (授業用②)	9.1 場合の数②
5月	①	【中学数学】9.2 確率①	中学数学 α (授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】9.2 確率②	中学数学 α (授業用②)	9.2 確率①
	③	【中学数学】9.3 確率の応用	中学数学 α (授業用②)	9.2 確率②
6月	①	【中学数学】10.1 式の証明	「§10整数・§11データの活用」テキスト	—
	②	【中学数学】10.2 公約数・公倍数	「§10整数・§11データの活用」テキスト	10.1 式の証明
	③	【中学数学】10.3 剰余系	「§10整数・§11データの活用」テキスト	10.2 公約数・公倍数
7月	①	【中学数学】10.4 不定方程式	「§10整数・§11データの活用」テキスト	月例テスト
	②	【中学数学】11.1 ヒストグラムと代表値	「§10整数・§11データの活用」テキスト	10.4 不定方程式
	③	【中学数学】11.2 四分位数と箱ひげ図	「§10整数・§11データの活用」テキスト	11.1 ヒストグラムと代表値
夏期	①	高校入試問題チャレンジ①	夏期テキスト	—
	②	高校入試問題チャレンジ②	夏期テキスト	—
	③	高校入試問題チャレンジ③	夏期テキスト	—
9月	①	【数Ⅰ】§1-1 展開と因数分解	数学ⅠA(授業用)	—
	②	【数Ⅰ】§1-2 実数	数学ⅠA(授業用)	§1-1 展開と因数分解
	③	【数Ⅰ】§1-3 対称式	数学ⅠA(授業用)	§1-2 実数
10月	①	【数Ⅰ】§1-4 絶対値	数学ⅠA(授業用)	月例テスト
	②	【数Ⅰ】§2-1 2次方程式の解の公式と判別式	数学ⅠA(授業用)	§1-4 絶対値
	③	【数Ⅰ】§2-2 2次関数の基本 [1]	数学ⅠA(授業用)	§2-1 2次方程式の解の公式と判別式
11月	①	【数Ⅰ】§2-2 2次関数の基本 [2]	数学ⅠA(授業用)	月例テスト
	②	【数Ⅰ】§2-3 2次関数の最大・最小 [1]	数学ⅠA(授業用)	§2-2 2次関数の基本
	③	【数Ⅰ】§2-3 2次関数の最大・最小 [2]	数学ⅠA(授業用)	§2-3 2次関数の最大・最小
12月	①	【数Ⅰ】§2-4 2次不等式 [1]	数学ⅠA(授業用)	月例テスト
	②	【数Ⅰ】§2-4 2次不等式 [2]	数学ⅠA(授業用)	§2-4 2次不等式
	③	【数Ⅰ】§2-5 2次方程式の解の配置	数学ⅠA(授業用)	§2-4 2次不等式
冬期	①	【数Ⅰ演習】式の計算	冬期テキスト	—
	②	【数Ⅰ演習】方程式・不等式	冬期テキスト	—
	③	【数Ⅰ演習】2次関数①	冬期テキスト	—
	④	【数Ⅰ演習】2次関数②	冬期テキスト	—
1月	①	【数Ⅰ】§4-1 三角比①(鋭角)	数学ⅠA(授業用)	—
	②	【数Ⅰ】§4-2 三角比②(一般角) [1]	数学ⅠA(授業用)	§4-1 三角比①(鋭角)
	③	【数Ⅰ】§4-2 三角比②(一般角) [2]	数学ⅠA(授業用)	§4-2 三角比②(一般角)
2月	①	【数Ⅰ】§4-3 方程式と不等式 [1]	数学ⅠA(授業用)	月例テスト
	②	【数Ⅰ】§4-3 方程式と不等式 [2]	数学ⅠA(授業用)	§4-3 方程式と不等式
	③	【数Ⅰ】§4-4 正弦定理・余弦定理 [1]	数学ⅠA(授業用)	§4-3 方程式と不等式

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

数学科カリキュラム

中2数学TW β

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講にはTWクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

夏期講習会までは幾何分野を中心に扱います。2学期からは高校単元の数学ⅠAに入る非常に速い先取りカリキュラムで進んでいきます。各単元における頻出問題の定着に留まらず融合問題も扱い、単元を超えた数学的視点を養うことで、発想力や記述力、解答力を向上させます。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中学数学 β (授業用②)、数学ⅠA (授業用) 新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず書き直してください。

■ 中2数学TW β (前期)

5月～7月で使用するテキストです。大学入試につながる発展問題を掲載しており、これを用いてここまで学習した中学数学内容の総合演習を行います。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず書き直してください。

■ 新中学問題集

使用法

宿題として自宅で演習するための教材です。以下宿題欄をご参照ください。

■ コンプリート 数学Ⅰ、数学A

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 【前期】新中学問題集・【後期】コンプリート 数学Ⅰ、数学A (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解いて、赤ペンを用いて答え合わせをしましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で1時間程度)

授業テキスト内の講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解いて答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやり直し (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題を授業ノートや解説で確認し、「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは書き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分
		講義 15分	演習 10分
		解説 10分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	【中学数学】8.2 平面図形への応用 [2]	中学数学β(授業用②)	—
	②	【中学数学】8.3 座標平面・二点間距離 [1]	中学数学β(授業用②)	8.2 平面図形への応用 [2]
	③	【中学数学】8.3 座標平面・二点間距離 [2]	中学数学β(授業用②)	8.3 座標平面・二点間距離 [1]
春期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
	④	—	—	—
4月	①	【中学数学】8.4 空間図形への応用 [1]	中学数学β(授業用②)	—
	②	【中学数学】8.4 空間図形への応用 [2]	中学数学β(授業用②)	8.4 空間図形への応用 [1]
	③	【中学数学】8.5 正多面体	中学数学β(授業用②)	8.4 空間図形への応用 [2]
5月	①	【大学入試への挑戦】幾何①	中2数学TWβ(前期)	月例テスト
	②	【大学入試への挑戦】幾何②	中2数学TWβ(前期)	幾何①
	③	【大学入試への挑戦】幾何③	中2数学TWβ(前期)	幾何②
6月	①	【大学入試への挑戦】代数①	中2数学TWβ(前期)	月例テスト
	②	【大学入試への挑戦】代数②	中2数学TWβ(前期)	代数①
	③	【大学入試への挑戦】代数③	中2数学TWβ(前期)	代数②
7月	①	【大学入試への挑戦】座標①	中2数学TWβ(前期)	月例テスト
	②	【大学入試への挑戦】座標②	中2数学TWβ(前期)	座標①
	③	【大学入試への挑戦】座標③	中2数学TWβ(前期)	座標②
夏期	①	【大学入試への挑戦】幾何④	夏期テキスト	—
	②	【大学入試への挑戦】代数④	夏期テキスト	—
	③	【大学入試への挑戦】座標④	夏期テキスト	—
9月	①	【数A】§8-1 約数・倍数	数学IA(授業用)	—
	②	【数A】§8-2 不定方程式 [1]	数学IA(授業用)	§8-1 約数・倍数
	③	【数A】§8-2 不定方程式 [2]	数学IA(授業用)	§8-2 不定方程式
10月	①	【数A】§8-3 剰余による分類	数学IA(授業用)	月例テスト
	②	【数A】§8-4 不等式と整数の問題	数学IA(授業用)	§8-3 剰余による分類
	③	【数A】§8の発展問題演習	数学IA(授業用)	§8-4 不等式と整数の問題
11月	①	【数A】§5-1 データの整理と代表値	数学IA(授業用)	月例テスト
	②	【数A】§5-2 データの散らばり	数学IA(授業用)	§5-1 データの整理と代表値
	③	【数A】§5-3 データの相関	数学IA(授業用)	§5-2 データの散らばり
12月	①	【数I】§3-1 集合	数学IA(授業用)	月例テスト
	②	【数I】§3-2 命題と条件	数学IA(授業用)	§3-1 集合
	③	【数I】§3-3 命題と証明	数学IA(授業用)	§3-2 命題と条件
冬期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
	④	—	—	—
1月	①	【数A】§6-1 順列	数学IA(授業用)	—
	②	【数A】§6-2 組合せ	数学IA(授業用)	§6-1 順列
	③	【数A】§6-3 円順列・数珠順列	数学IA(授業用)	§6-2 組合せ
2月	①	【数A】§6-4 重複組合せ	数学IA(授業用)	月例テスト
	②	【数A】§7-1 確率	数学IA(授業用)	§6-4 重複組合せ
	③	【数A】§7-2 独立な試行の確率 [1]	数学IA(授業用)	§7-1 確率

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中2数学S α 中高一貫

対象

難関国立大学、早慶上智大をはじめとする難関私立大学に合格するための、基礎学力習得を目指す生徒。

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

講座の目的

中学内容の代数分野について、7月までにひと通り学習を終えます。夏期講習会からは中学数学の代数分野に関して演習を通じ総復習を行います。各単元における頻出問題の定着に留まらず融合問題も扱い、単元を超えた数学的視点を養うことで、発想力や記述力、解答力を向上させます。

この講座のねらいは、中学数学内容の定着度をさらに向上させ、中3から開始する高校数学の導入をスムーズにすることです。中2終了時には、高校入試であれば公立高校や国立附属高校の標準的な入試問題が解ける実力を身につけることを、到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中学数学 α (授業用②)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関校レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

■ 「§10整数・§11データの活用」テキスト

7月に使用するテキストです。使用法は上記のメインテキストと同様です。

■ 上位校への数学(レギュラー)

後期の授業で使用される演習用のテキストです。高校入試レベルの演習問題を掲載しており、これを用いてここまで学習した中学数学内容の総合演習を行います。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:「例題」「必勝問題」を用いての復習をしたのち、「確認問題」で演習および解説を進めます。

復習:「確認問題」のうち解けなかった問題や講師から指定された問題に関して再度解き直しをしておきましょう。

■ 新中学問題集

使用法

宿題として自宅で演習するための教材です。以下宿題欄をご参照ください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 新中学問題集 (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行います。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 授業テキスト指定演習題 (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行います。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分	解説 10分	講義 15分	演習 10分	解説 10分
---------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	【中学数学】8.5 2次関数 $y=ax^2$ とそのグラフ	中学数学 α (授業用②)	—
	②	【中学数学】8.6 2次関数 $y=ax^2$ の値の変化 [1]	中学数学 α (授業用②)	8.5 2次関数 $y=ax^2$ とそのグラフ
	③	【中学数学】8.6 2次関数 $y=ax^2$ の値の変化 [2]	中学数学 α (授業用②)	8.6 2次関数 $y=ax^2$ の値の変化 [1]
春期	①	【中学数学演習】展開・因数分解	春期テキスト	—
	②	【中学数学演習】平方根	春期テキスト	—
	③	【中学数学演習】2次方程式	春期テキスト	—
	④	【中学数学演習】2次関数	春期テキスト	—
4月	①	【中学数学】8.7 2次関数 $y=ax^2$ の利用 [1]	中学数学 α (授業用②)	—
	②	【中学数学】8.7 2次関数 $y=ax^2$ の利用 [2]	中学数学 α (授業用②)	8.7 2次関数 $y=ax^2$ の利用 [1]
	③	【中学数学】8.7 2次関数 $y=ax^2$ の利用 [3]	中学数学 α (授業用②)	8.7 2次関数 $y=ax^2$ の利用 [2]
5月	①	【中学数学】9.1 場合の数 [1]	中学数学 α (授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】9.1 場合の数 [2]	中学数学 α (授業用②)	9.1 場合の数 [1]
	③	【中学数学】9.1 場合の数 [3]	中学数学 α (授業用②)	9.1 場合の数 [2]
6月	①	【中学数学】9.1 場合の数 [4]	中学数学 α (授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】9.2 確率 [1]	中学数学 α (授業用②)	9.1 場合の数 [4]
	③	【中学数学】9.2 確率 [2]	中学数学 α (授業用②)	9.2 確率 [1]
7月	①	【中学数学】9.3 確率の応用	中学数学 α (授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】11.1 ヒストグラムと代表値	「§10 整数・§11 データの活用」テキスト	9.3 確率の応用
	③	【中学数学】11.2 四分位数と箱ひげ図	「§10 整数・§11 データの活用」テキスト	11.1 ヒストグラムと代表値
夏期	①	【中学数学演習】座標幾何①	夏期テキスト	—
	②	【中学数学演習】座標幾何②	夏期テキスト	—
	③	【中学数学演習】座標幾何③	夏期テキスト	—
9月	①	【高校入試演習】計算①	上位校への数学 (レギュラー)	—
	②	【高校入試演習】計算②	上位校への数学 (レギュラー)	計算①
	③	【高校入試演習】計算③	上位校への数学 (レギュラー)	計算②
10月	①	【高校入試演習】不等式	上位校への数学 (レギュラー)	月例テスト
	②	【高校入試演習】整数①	上位校への数学 (レギュラー)	不等式
	③	【高校入試演習】整数②	上位校への数学 (レギュラー)	整数①
11月	①	【高校入試演習】整数③	上位校への数学 (レギュラー)	月例テスト
	②	【高校入試演習】整数④	上位校への数学 (レギュラー)	整数③
	③	【高校入試演習】確率①	上位校への数学 (レギュラー)	整数④
12月	①	【高校入試演習】確率②	上位校への数学 (レギュラー)	月例テスト
	②	【高校入試演習】文章題①	上位校への数学 (レギュラー)	確率②
	③	【高校入試演習】文章題②	上位校への数学 (レギュラー)	文章題①
冬期	①	【高校入試演習】展開・因数分解, 平方根	冬期テキスト	—
	②	【高校入試演習】2次方程式	冬期テキスト	—
	③	【高校入試演習】整数	冬期テキスト	—
	④	【高校入試演習】確率	冬期テキスト	—
1月	①	【高校入試演習】1次関数①	上位校への数学 (レギュラー)	—
	②	【高校入試演習】1次関数②	上位校への数学 (レギュラー)	1次関数①
	③	【高校入試演習】2次関数①	上位校への数学 (レギュラー)	1次関数②
2月	①	【高校入試演習】2次関数②	上位校への数学 (レギュラー)	月例テスト
	②	【高校入試演習】座標幾何①	上位校への数学 (レギュラー)	2次関数②
	③	【高校入試演習】座標幾何②	上位校への数学 (レギュラー)	座標幾何①

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中2数学S β 中高一貫

対象

難関国公立大学、早慶上智大をはじめとする難関私立大学に合格するための、基礎学力習得を目指す生徒。

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

講座の目的

中学内容の幾何分野について、7月までにひと通り学習を終えます。夏期講習会からは中学数学の幾何分野に関して演習を通し総復習を行います。各単元における頻出問題の定着に留まらず融合問題も扱い、単元を超えた数学的視点を養うことで、発想力や記述力、解答力を向上させます。

この講座のねらいは、中学数学内容の定着度をさらに向上させ、中3から開始する高校数学の導入をスムーズにすることです。中2終了時には、高校入試であれば公立高校や国立附属高校の標準的な入試問題が解ける実力を身につけることを、到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中学数学 β (授業用②)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

■ 「§10整数・§11データの活用」テキスト

6月・7月に使用するテキストです。使用法は上記のメインテキストと同様です。

■ 上位校への数学(レギュラー)

9月～12月の授業で使用する演習用のテキストです。高校入試レベルの演習問題を掲載しており、これを用いてここまで学習した中学数学内容の総合演習を行います。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:「例題」「必勝問題」を用いての復習をしたのち、「確認問題」で演習および解説を進めます。

復習:「確認問題」のうち解けなかった問題や講師から指定された問題に関して再度解き直しをしておきましょう。

■ 中2数学S β (1月・2月)

1月・2月で使用する定着度確認用のテキストです。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。 授業:中学数学内容の定着度を判定するテストを実施し、解説を行います。

復習:テストで間違えてしまった問題を必ず解き直しをしておきましょう。

■ 新中学問題集

使用法

宿題として自宅で演習するための教材です。以下宿題欄をご参照ください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 新中学問題集 (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行いましょ。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 授業テキスト指定演習題 (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行いましょ。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分
		解説 10分	講義 15分
		演習 10分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	【中学数学】8.1 三平方の定理 [1]	中学数学β(授業用②)	—
	②	【中学数学】8.1 三平方の定理 [2]	中学数学β(授業用②)	8.1 三平方の定理 [1]
	③	【中学数学】8.1 三平方の定理演習	中学数学β(授業用②)	8.1 三平方の定理 [2]
春期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
	④	—	—	—
4月	①	【中学数学】8.2 平面図形への応用 [1]	中学数学β(授業用②)	—
	②	【中学数学】8.2 平面図形への応用 [2]	中学数学β(授業用②)	8.2 平面図形への応用 [1]
	③	【中学数学】8.2 平面図形への応用 [3]	中学数学β(授業用②)	8.2 平面図形への応用 [2]
5月	①	【中学数学】8.3 座標平面・二点間距離 [1]	中学数学β(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】8.3 座標平面・二点間距離 [2]	中学数学β(授業用②)	8.3 座標平面・二点間距離 [1]
	③	【中学数学】8.4 空間図形への応用 [1]	中学数学β(授業用②)	8.3 座標平面・二点間距離 [2]
6月	①	【中学数学】8.4 空間図形への応用 [2]	中学数学β(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】8.5 正多面体	中学数学β(授業用②)	8.4 空間図形への応用 [2]
	③	【中学数学】10.1 式の証明	「§10 整数・§11 データの活用」テキスト	8.5 正多面体
7月	①	【中学数学】10.2 公約数・公倍数	「§10 整数・§11 データの活用」テキスト	月例テスト
	②	【中学数学】10.3 剰余系	「§10 整数・§11 データの活用」テキスト	10.2 公約数・公倍数
	③	【中学数学】10.4 不定方程式	「§10 整数・§11 データの活用」テキスト	10.3 剰余系
夏期	①	【中学数学演習】中学幾何のまとめ①	夏期テキスト	—
	②	【中学数学演習】中学幾何のまとめ②	夏期テキスト	—
	③	【中学数学演習】中学幾何のまとめ③	夏期テキスト	—
9月	①	【高校入試演習】平面①	上位校への数学(レギュラー)	—
	②	【高校入試演習】平面②	上位校への数学(レギュラー)	平面①
	③	【高校入試演習】平面③	上位校への数学(レギュラー)	平面②
10月	①	【高校入試演習】平面④	上位校への数学(レギュラー)	月例テスト
	②	【高校入試演習】平面⑤	上位校への数学(レギュラー)	平面④
	③	【高校入試演習】平面⑥	上位校への数学(レギュラー)	平面⑤
11月	①	【高校入試演習】立体①	上位校への数学(レギュラー)	月例テスト
	②	【高校入試演習】立体②	上位校への数学(レギュラー)	立体①
	③	【高校入試演習】立体③	上位校への数学(レギュラー)	立体②
12月	①	【高校入試演習】立体④	上位校への数学(レギュラー)	月例テスト
	②	【高校入試演習】特殊図形①	上位校への数学(レギュラー)	立体④
	③	【高校入試演習】特殊図形②	上位校への数学(レギュラー)	特殊図形①
冬期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
	④	—	—	—
1月	①	【高校入試演習】定着度判定テスト①	中2数学Sβ(1月・2月)	—
	②	【高校入試演習】定着度判定テスト②	中2数学Sβ(1月・2月)	—
	③	【高校入試演習】定着度判定テスト③	中2数学Sβ(1月・2月)	—
2月	①	【高校入試演習】定着度判定テスト④	中2数学Sβ(1月・2月)	—
	②	【高校入試演習】定着度判定テスト⑤	中2数学Sβ(1月・2月)	—
	③	【高校入試演習】定着度判定テスト⑥	中2数学Sβ(1月・2月)	—

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

国語科カリキュラム

中学1年～高校3年

国語科指導方針

● 中学入試で培った国語力の維持

中学入試の際に必死に学んだ国語。四字熟語や慣用句、漢字の知識はこれからの財産となるものです。しかしながら、昨今、日常生活で漢字を手で書くことの頻度は減りました。中学入試で培った国語力を風化させない、そのために国語の受講をおすすめします。「なあなあ」にせずに「ちゃんと」国語の学習をやり続ける、これがコンセプトです。授業内の制限時間内に問題を解くという習慣を絶やさないと、ということが国語力維持に大きく貢献するはずで、英数で新しいことをたくさん学ばなければなりませんので、宿題は多く出します。負担を感じずに受講いただけます。中1から国語を開講している他塾は少ないので、併用も歓迎です。

● 教養の体得

単に大学入試に合格することだけを目指すのではなく、文化資本とも呼ぶべき国語教養を身につけることが目的です。授業内では現代文・古文・漢文の3分野をまんべんなく扱います。国語に関する知識を一段高い所から俯瞰的に学び、文章が書かれる意味・背景・ねらいを自身で理解できるようにします。教養が身につくことで、医学部をはじめとした入試で実施される面接での適切な受け答えや小論文の対策にもなります。

● 視野を広げる

東京大学をはじめとした最難関大学の入試には抽象度の高い文章が出題されます。自らの興味関心のみで焦点化した狭い視野では、入試に出題される文章を理解すること自体が難しく、それを簡潔明瞭に表現するという高いハードルを越えることは不可能です。中3では『寝ながら学べる構造主義』という本を1年間かけてじっくりと読書会のようなかたちで読み、掲載されている思想家についての理解を深めます。マルクス、フロイト、ニーチェなど、構造主義者というよりは20世紀の知性に大きな影響を及ぼした三人についてまずは概観し、ソシュール、フーコー、レヴィ=ストロース、ラカンについて学びます。私たちにとっては自明と思われることも、「ある時代のある時点から採用されている考え方だ」ということに触れる経験は、皆さんの成長にもつながります。

● 古典の暗唱

古文・漢文では有名作品や和歌の暗唱を通じて、国語表現の身体化を目指します。一見難しく感じられる評論文中特有のことばを背景から、古文単語を語源から、漢文中の漢字を成り立ちから、楽しみながら学びます。「なんとなくわかる」という際の「なんとなく」にぴったり合うことばを与え、他者に伝えることばで表現できるようにします。

● 中2までの2年間で古典文法を学習

中1～2の2年間で古典文法をひと通り学習します。全貌を2年間でつかむことができるのは他塾にはないカリキュラムです。中3までで古典文法を2回学習することになるので、中3までに大学入試に必要な古典文法を習得することが可能です。

【6年間の流れ】

	TW
中1	現代文は「論理トレーニング」を実施し、「何となく読む」状態からの脱却を目指します。論理を考え出し、論点をまとめ上げ、明快到記述する能力を養います。古文・漢文は有名作品の暗唱を行います。講習会で古文の文法をまとめて扱いますので、講習会を受講していただければ途中合流可能です。
中2	現代文は共通テスト対策を実施します。資料を適切に読み取り、明快到記述する能力を養います。古文・漢文は有名作品の暗唱を引き続き行います。古文の授業では基本的な単語を語源から解説を行い、語彙力の基礎を築きます。講習会で古典の文法をまとめて扱いますので、講習会を受講していただければ途中合流可能です。中2終了時で古典文法の学習は一通り終了します。
中3	現代文は構造主義の思想を学びます。東大を始めとする最難関大学受験において、有効に働く背景知識を身につけます。古文・漢文は有名作品の暗唱を引き続き行います。中3の1年間で、中1・2で学習した古典文法を総復習し、知識を完成させます。古文に関しては、1年間で1冊の単語帳を覚えきり、共通テストが難なく解ける水準にします。
高1	東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く国語力をつけます。現代文の知識を習得することに主軸を置き、古典の知識を定期的に復習します。
高2・高3	東大をはじめとした最難関大学の入試問題を演習します。添削指導によって、記述答案作成力をさらに洗練させ、総仕上げをします。

【ノート】

早稲アカ用のノートを1冊準備してください。

複数のノートを用意する必要はありませんが、宿題をやるときはどこからどこまでが宿題かわかるように記載してください。テキストへの解答の書き込みは授業内外を問わず禁止です。講師の板書だけでなく、口頭で説明した内容も含め、学んだことを貪欲に書き込んでください。鉛筆やシャープペンシルに加え、赤・青・緑のペンをご用意ください。

【宿題の量】

中1・2のうち、宿題はほぼありません。古文・漢文の音読と暗唱を1週間に30分～1時間程度行ってください。月例テストの前は該当範囲の復習をして臨んでください。

中3では、中1・2に実施した古典の復習に時間を要しますので、毎週2時間程度宿題を課します。毎回の単語テスト準備も宿題とします。

①通常期：授業の復習（平均2時間）・各種テスト準備（平均1時間）／週×通常授業30回＝90時間程度

②長期休暇期間：春休み、GW、夏休み、冬休みで合計40時間程度

①+②で年間130時間程度の課題を出します。

また、①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しにかかる時間」が増えます。

【読書の習慣化】

宿題はほとんどありませんが、読書習慣をつけるようにしてください。どんな本を読めば良い、という絶対的な基準はありません。自分の興味関心の視野を広げるために、ぜひ本を読んでください。多くの本を読めば、多くの表現に触れ、おのずと語彙や表現が身につきます。このようにして自然と養われた表現力は、記述式の問題で皆さんの得点を押し上げることにつながります。

特に「源氏物語」「枕草子」「徒然草」「方丈記」「三国志」「水滸伝」「史記」など、代表的な古典作品を通読しておくのはおすすめです。原典で読むのは難しいですが、さまざまな現代語訳が出版されています。マンガもありますので、マンガで内容を掴むというのも良い方法です。非常時においては、感情的にならず、広いタイムスパンで目の前の出来事を客観的に観察することが必要です。そういう際に、古典を読むのは良いと思います。「方丈記」は嵐、火事、飢饉、洪水、疫病、遷都……など、京都の町を襲ったありとあらゆる天変地異について書かれたもので、「無常観」とはいかなる思想であるのかということをお教えできます。

【テスト(中2)】

TWクラス選抜	7月、12月に実施します。TWクラスの受講にはこの試験に合格することが必要です。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受験も可能です。合格点の目安は60点です。またこの試験を当日3科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
必修テスト	3月、7月、9月、1月の年4回、中高一貫校生向けのマーク模試を受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
月例テスト	5月より指定月の初回冒頭20分間でチェックテストを行います。前月学習したテキスト内容から出題されます。合格点は80点が目安です。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	

❖国語科カリキュラム

中2国語TW

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

90分

講習会

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講にはTWクラス選抜試験の合格が必要です

講座の目的

単に大学入試に合格することだけを目指すのではなく、文化資本とも呼ぶべき国語教養を身につけることが本講座の目的です。授業内では現代文・古文・漢文の3分野をまんべんなく扱います。国語に関する知識を一段高い所から俯瞰的に学び、文章が書かれる意味・背景・ねらいを自身で理解できるようにします。古文・漢文では有名作品や和歌の暗唱を通じて、国語表現の身体化を目指します。

文章を読んで「なんとなくわかる」というセンスとも呼ぶべき直観的な理解力と、その「なんとなく」にぴったり合うことばを与え、他者に伝わるように表現できる力の、一見矛盾するふたつの力の体得を目指します。

学年終了時まで、学校内成績においてトップ10に入る力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中2国語TW(前期・後期)

メインテキストです。現代文は共通テスト対策のための実用的文章の読解、古文は学校の教科書にも登場するような「有名古文作品の読解」、漢文は訓読法を学びながら「故事成語の語源作品の読解」を授業の中で扱います。

使用法

予習:不要です。

授業:現代文…文章の論理構造を分析する礎となる教養と論理を身につけることを目的とします。解説・説明の際に講師が行う板書は、テキストの該当部分もしくはノートに写してください。

古文…中1で学んだ文法・単語知識をもとにして、多くの学校教科書に採用されている有名古文作品の読解を行います。講習会では中1と同様に文法を集中的に扱うカリキュラムとしていきますので、学校との両立を無理なく行うことができます。

漢文…発展的な句法の習得を行います。古文同様基本事項を学校での学習よりも早期に学べるので、学校の定期試験においてアドバンテージを得ることができます。

■ 単語リスト

語源を重視した古文単語帳です。古文単語の多くはひらがな表記ですが、それにどのような漢字を当てるのか、語源のイメージは何かということが記載されています。実際の入試の記述問題では、柔軟に文脈に合わせた訳を求められることが多くあります。単に単語の代表的意味を機械的に暗記するのでは対応が難しく、語源やイメージを持つことで対応可能になります。また、単語の多くは中3で使用する『合格古文単語380』に掲載されているものです。中2・3の2年間かけて古文単語の基盤を構築します。古文の授業毎に10個ずつ解説を実施します。

【宿題】

現代文の回:月例テストのやり直しが宿題です。やり直したノートを講師がチェックします。(1週間に30分程度)

古文の回:授業で扱った古文の暗唱が宿題です。暗唱ページを繰り返し声に出して読みましょう。また、授業内で取り上げた箇所の現代語訳も書き直しをしてください。単語リストで扱った単語の暗記もしてください。月例テストに出題します。(1週間に1時間程度)

漢文の回:授業で扱った漢文を白文で読めるように、何度も書いてみてください。授業内で取り上げた例文の暗記も併せて行ってください。月例テストに出題します。(1週間に1時間程度)

月例テストに向けた復習:月例テストは古文・漢文から出題されます。上記で課された宿題を中心に復習をしてテストに臨んでください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
宿題確認 5分	解説 5分	諸伝達 5分	導入 20分
			演習 20分
			解説 35分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	確認テスト
3月	①	【現代文】論理トレーニング①	共通テスト対策・要約	—
	②	【古文】有名古文作品研究①	『おくのほそ道』①	—
	③	【漢文】故事成語研究①	『画竜点睛』	—
春期	①	【現代文】論理トレーニングの復習①	説明・要約の書き方	—
	②	【現代文】論理トレーニングの復習②	説明・要約の実践	—
	③	【古文】中1古文文法まとめ	用言・助動詞	—
	④	【漢文】中1漢文句法まとめ	返り点・書き下し文	—
4月	①	【現代文】論理トレーニング②	共通テスト対策・要約	春期課題確認(助動詞)
	②	【古文】有名古文作品研究②	『土佐日記』	—
	③	【漢文】故事成語研究②	『嬰逆鱗』	—
5月	①	【現代文】論理トレーニング③	共通テスト対策・要約	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究③	『更級日記』	—
	③	【漢文】故事成語研究③	『助長』	—
6月	①	【現代文】論理トレーニング④	共通テスト対策・要約	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究④	『発心集』	—
	③	【漢文】故事成語研究④	『杞憂』①	—
7月	①	【現代文】論理トレーニング⑤	共通テスト対策・要約	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究⑤	『十訓抄』	—
	③	【漢文】故事成語研究⑤	『杞憂』②	—
夏期	①	【古文】用言・助動詞の復習	活用・意味など	—
	②	【古文】助詞	古文に特有な助詞	—
	③	【古文】読解	入試問題演習	—
9月	①	【現代文】論理トレーニング⑥	共通テスト対策・要約	夏期課題確認(助動詞)
	②	【古文】有名古文作品研究⑥	『枕草子』	—
	③	【漢文】故事成語研究⑥	『先従隋始』	—
10月	①	【現代文】論理トレーニング⑦	共通テスト対策・要約	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究⑦	『伊勢物語』	—
	③	【漢文】故事成語研究⑦	『鶏鳴狗盗』①	—
11月	①	【現代文】論理トレーニング⑧	共通テスト対策・要約	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究⑧	『大鏡』	—
	③	【漢文】故事成語研究⑧	『鶏鳴狗盗』②	—
12月	①	【現代文】論理トレーニング⑨	共通テスト対策・要約	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究⑨	『おくのほそ道』②	—
	③	【漢文】故事成語研究⑨	『四面楚歌』	—
冬期	①	【古文】用言・助動詞・助詞の復習	文法の復習	—
	②	【古文】敬語	敬語の種類と主体判定	—
	③	【古文】読解	入試問題演習	—
	④	【漢文】句法の復習	文型・否定など	—
1月	①	【現代文】論理トレーニング⑩	共通テスト対策・要約	冬期課題確認(助詞)
	②	【古文】有名古文作品研究⑩	『源氏物語』①	—
	③	【漢文】故事成語研究⑩	『臥薪嘗胆』①	—
2月	①	【現代文】論理トレーニング⑪	共通テスト対策・要約	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究⑪	『源氏物語』②	—
	③	【漢文】故事成語研究⑪	『臥薪嘗胆』②	—

※ 上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。 ※ 個人別の課題を設定する場合があります。

【受講にあたってのご案内】

クラス分け

選抜クラス(TWクラス・Tクラス)に関しては、中1～高1生は「TW/Tクラス選抜試験」、高2生は「東大水準模試」および理科TWクラス選抜試験、高3生は「東大必勝模試」および理社TWクラス選抜試験の結果により受講資格が与えられます。これらの試験は7月と12月に実施され、それぞれ後期(9月～翌年2月)と前期(翌年3月～8月)のクラスを確定します(※)。

SKクラス(1組・2組)・Rクラス(高3のみ)に関しては、必修テストの結果に応じてクラス分けを行います。2月・6月のテストで後期(9月～翌年2月)、9月・11月の必修テストで前期(翌年3月～8月)のクラスを確定します。

※高3「東大必勝模試」は6月・9月の実施です。

月例テスト

解答用紙を実施前月の月末発送物で送付します。対面参加生は送付されたものを月例テスト実施日に持参してください。問題用紙につきましては、対面参加生は授業の際に直接配布、Zoom参加生は早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に公開された問題を見てテストを行います。

いずれの学年も、Zoom参加生は解答用紙を「早稲田アカデミーEAST」アプリを使用して、テスト当日の22時までに提出してください。また、実施後には早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に解答を公開しますので、復習にご活用ください。

採点後の答えは、対面参加生には授業で直接返却し、Zoom参加生は「早稲田アカデミーEAST」での返却および月末(※)の発送物にて送付します。

※「早稲田アカデミーEAST」アプリで提出された答案に関しては、翌月末の発送物での送付となるケースがあります。ご了承ください。

確認テスト

対面参加生は授業の際に直接配布、Zoom参加生は画面共有でテストを行います。

翌月上旬には早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に問題・解答を公開しますので、復習にご活用ください。

早稲田アカデミーEAST(アプリ)

月例テストの解答用紙や英語TW Boosterクラスの課題の提出に使用するアプリです。「早稲田アカデミーEAST」のアプリをダウンロードし、ホームページに掲載されている「スタートアップガイド」に従って解答用紙などの提出を行ってください。

早稲田アカデミーOnline(アプリ)

早稲田アカデミーが提供するさまざまなICTサービスを利用するための、オリジナルポータルサービスです。授業スケジュールの確認、遅刻や欠席の連絡、「双方向Web授業」や「学習コンテンツ」へのアクセスができるほか、各種お申し込みや請求支払い状況の照会などの機能を搭載しています。「お知らせ」には、時間割や保護者会のご案内など、重要なお知らせを配信します。

アプリのインストールおよびアカウント作成についての詳細は、ご入塾の際に配布している案内をご確認ください。

振替制度

同じクラス名の授業を他校舎にて振替出席することが可能です。事前に所属校舎までお申し出ください。校舎によって授業実施曜日が異なりますので、早稲田アカデミーOnlineに掲載されている年間カレンダーにて授業スケジュールをご確認いただき、授業回数が異なってしまわないようご注意ください。

教材の購入方法

テキスト使用予定約1か月前から早稲田アカデミーOnlineにてテキストが購入できるようになります。

購入が必要な時期(※)に「教材のご案内」を配布いたします。購入に必要な各教材の「教材コード」などが記載されておりますので、そちらを参照してご購入いただけます。

また、受講していない講座や、他学年の物などを含め時期が異なる教材の購入も可能です。購入をお考えの教材内容に関しては校舎までお問い合わせください。

※テキストの切り替わる時期に関しては各科目のカリキュラムのページをご確認ください。

サクセスタイムズ(毎月のお知らせ)

毎月の営業日時・休講日・模試・イベント等のご案内は、早稲田アカデミーOnlineに「サクセスタイムズ」を掲載させていただきますのでご確認ください。

ご不明点などございましたら所属校舎までお問い合わせください。

配布物ファイル

お知らせ等の配布物は授業時にクリアファイルに入れて配付いたします。授業中に配付しますので、中身を受け取り後、ファイルを授業担当講師へ返却してください。

授業がZoomでの参加のみ等の理由で直接お渡しできていない方に関しては、当月末の発送物にて送付します。

事務受付時間

通常営業日 平日・土曜 13:00～19:30

講習会期間 9:00～19:00

※日曜日の営業日時や受付時間変更などに関しては、毎月早稲田アカデミーOnlineに掲載される「サクセスタイムズ」をご参照ください。

自習室の利用

通常営業日 平日・土曜 13:00～21:30

講習会期間 8:30～20:00

※利用時間や利用可能日を変更させていただく場合がございます。変更がある場合は、早稲田アカデミーOnlineにてご案内いたします。

SYLLABUS 2026

[中学2年生コース]

 **早稲田アカデミー 大学受験部**